

令和5年度

一関地球温暖化対策地域協議会

総 会 議 案 書

日時 令和5年6月3日（土）

13時30分～15時00分

場所 一関保健センター多目的ホール

一関地球温暖化対策地域協議会

一 総会次第 一

1 開会

2 あいさつ

3 来賓祝辞

4 議事

報告第1号 令和4年度事業報告 2

認定第1号 令和4年度収支決算 7

監査報告 8

議案第1号 令和5年度事業計画（案） 9

議案第2号 令和5年度収支予算（案） 10

議案第3号 役員を選出について 11

議案第4号 役員承認について 11

5 その他

6 閉会

報告第1号 令和4年度事業報告

会則第11条第2項に基づき令和4年度事業について次のとおり報告する。

令和5年6月3日提出

一関地球温暖化対策地域協議会
会長 徳谷喜久子

昨年、2022年はロシアのウクライナ侵攻の影響で、世界中がエネルギーと食料問題に直面することとなり、グローバル化が地球の隅々にまで広がっていることを、驚きと戸惑いをもって再認識した次第です。戦争で計り知れない量のCO₂を排出した上で、尚、各国がエネルギーと食料を調達するために新たに動き、わが国の火力発電所も再稼働し始めました。COP21以降少し進んだかに見えていた脱炭素化も、これで元に戻ってしまったような大変な1年となりました。

(1) 気候セミナー「～カスリン・アイオン台風から4分の3世紀～ 激甚化・頻発化する気象災害に備えて」を開催

- 日時 令和4年5月29日(日) 15:00～16:10
- 場所 一関保健センター多目的ホール
- 参加者 会員25名、非会員35名
- 講師 気象庁 情報基盤部 部長 千葉剛輝氏
- ※アンケートを42名の参加者が回答。
(内21名が自由意見記載)



(2) 市民フェスタへの出展

- 日時 令和4年8月28日(日) 10:00～15:00
- 場所 千厩アイスアリーナほか
- 展示内容 「～脱炭素社会の移動手段～
EV(電気自動車)を知ろう！」
- 来場者 当ブースへ約20名
佐藤副会長と佐々木事務局長が対応



(3) いちのせきからストップ温暖化出前講座 in むろね

- 日時 令和4年10月1日(土) 13:30～16:00
- 場所 むろね曲ろくふれあいセンター
- 参加者 16名
- 講演: 「なぜ今脱炭素か？」 千葉理恵運営委員
- 発表1: 「太陽光発電・EVを利用して」
- 発表2: 「薪ストーブのある暮らし」
- 市の補助制度説明



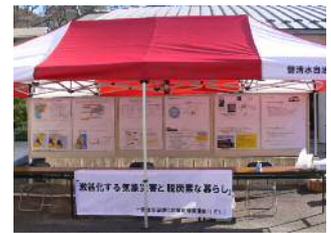
(4) 地球温暖化を主とする環境教育(授業)

- 日時 令和4年11月2日(水) 午前
- 場所 萩荘中学校
- 聴講者 同校3年生 61名
- 講師 一関高専 佐藤和久教授(当協議会 運営委員)
- 講義終了後生徒たちは10グループに分かれ話し合った結果を発表



(5) 磐清水市民センター主催の地区民祭への出展と講話

- 日 時 令和4年11月11(金)、12日(土)
- 場 所 磐清水市民センター
- パネル展示 「激甚化する気象災害と脱炭素な暮らし」
- 出 展 EV、ロケットストーブ、独立電源キッド
- 講 話 「気象災害はなぜ激甚化するのか?!」
「脱炭素な暮らしとは・・・」
受講者 延べ31名
以上、担当 菅原副会長、佐々木事務局長



(6) 「EV(電気自動車)を知ろう!(第2回)」の開催

- 日 時 令和4年11月13日(日)10:00~12:00
- 場 所 一関市役所大会議室・駐車場
- 参加者 約30名
- 協力:盛岡日産モータ(株)一関店、櫻星超能電池(株)
- 発表1:「太陽光発電と電気自動車を利用して」
事務局長 佐々木 勝裕
- 発表2:軽自動車 EVサクラの紹介
盛岡日産モータ(株)一関店
- 外観見学 OHSEI-88、日産リーフ・サクラ、Honda e
- 試乗・後部座席同乗:各車を使用して対応



(7) 誰もがすぐできる省エネの啓発

佐々木幸運営委員が作成した冬の省エネに関する原稿を事務局で対話形式に編集して、令和4年11月17日(金)に生活環境課としてFMあすもで放送

(8) 自然エネルギー等見学会

- 日 時 令和4年11月25日(金)13:30~16:00
- 場 所 一関清掃センター
- 参加者 13名
- 見学先 同センターリサイクルプラザ
- 岩渕環境学習指導員による説明
- 講 演 「ペーパーレス時代の古紙リサイクル」
上山製紙(株)菅原寿基社長



(9) 一関シニア活動プラザへの出展と講演

- 日 時 令和5年3月14日(火)、15日(水)
- 場 所 なのはなプラザ大会議室など
- パネル展示 「激甚化する気象災害と脱炭素な暮らし」
- 講 演 令和5年3月15日(水)10:30~12:00
「気象災害から身をまもる
~地球を冷やすために私たちができるエコ~」
- 講 師 佐々木事務局長
- 聴講者 23名



(10) 地球温暖化に関する広報ecoの発行

第1面、第4面を視覚に訴える編集とし、紙面をリニューアルして、2色刷りの青系を赤系に変更して、市内全世帯に広報ecoを2回配布した。

【第33号】令和4年11月1日発行
 何もかも値上げで苦しいわ！
 ecoファミリー紹介
 気候セミナー・市民フェスタ、小水力発電ゼミ
 ここ10数年の気候変化を振り返って
 冬の電気代節約のおはなし
 クイズとecoファミリーの名前募集には7名の応募があり
 全員正解、応募者にはへちマスポンジを送付した。



【第34号】令和5年6月1日発行
 新エネ補助メニューが増えました
 萩荘中学校で環境教育授業
 秋サケの漁獲量急減、一体何が起きているのでしょうか？
 夏の省エネ・暑さ対策
 クイズ



(11) 地域主導による自然エネルギー事業化支援など

1 1 - 1 小水力発電

前の総会での意見を受けて、主に大東地域・東山地域の会員を中心に活動日4回を設定し、検討を重ねた。

1) 第1回活動日

- 日時 令和4年9月13日(火) 13:30~16:00
- 場所 大東コミュニティセンター
- 参加者 14名
- 内容 キックオフゼミ他
 演題:「照井発電所、八幡沢発電所をいかに実現したか」
 講師:照井土地改良区 遠藤圭二郎 工務課長



2) 第2回活動日

- 日時 令和4年10月25日(金) 10:30~14:00
- 場所 山目市民センター+各発電所
- 参加者 13名
- 内容 岐阜県石徹白の事例や小型発電設備の情報共有と照井土地改良区3か所の発電所を見学

3) 第3回活動日

- 日時 令和4年11月25日(金) 10:00~13:00
- 場所 大東・東山地域各所
- 参加者 12名
- 内容 候補地6か所の現地調査

4) 第4回活動日

- 日時 令和5年4月3日(月) 10:00~12:00
- 場所 カフェ・カジヤ
- 参加者 6名
- 内容 候補地、超えるべき課題、どのような発電所を目指すのかに関して協議。

0.5kW程度の発電機は製造されているが、その価格が高くFITで売電しても事業性を確保することが難しい。さりとて、極小の発電機(10W)によるデモ的な設置では意味がないのでは。今後はある程度の規模に見合う流量・落差の場所の選定が課題

11-2 メガソーラー

5年ほど前に運転開始した萩荘字赤猪子付近の25.9メガワットの太陽光発電施設に関して現地確認、地元会員による苦情と現在計画されている第2期分に関する懸念をヒアリングした。

- 日時 令和5年3月26日(日) 10:00~14:00
- 場所 萩荘赤猪子付近
- 参加者 5名

(12) 他団体との協働や支援

ひらいずみ地球温暖化対策協議会、一関市民パワー発電所事業化検討地域協議会と当協議会の有志参加で一関広域行政組合が建設するエネルギー回収型一般廃棄物処理施設に関する要望書を提出した。

- 11月20日 勉強会(一関広域行政組合職員による情報共有と解説)
- 1月18日 一関広域行政組合へ要望書提出
- 2月20日 一関広域行政組合より回答書受領

(13) 岩手県地球温暖化防止活動推進センター主催

地域協議会情報・意見交換会 参加

- 日時 令和5年1月27日(金)
- 場所 アイーナ+Zoom
- 参加者 徳谷会長、佐藤敏朗副会長、佐々木事務局長ほか

(14) 図書の寄贈

市内の図書館に以下2種の図書を寄贈した。

- 寄贈日 令和5年4月11日(火)
- 寄贈図書
 - ・「腸と森の『土』を育てる」桐村里紗著(光文社新書)×8冊
 - ・「ゼロからの資本論」斎藤幸平著(NHK出版新書)×6冊
- 寄贈立会者 徳谷喜久子会長、菅原佐喜勇副会長



(15) 会報の発行

会員相互の情報交換を行うことを目的に、IEL会報を4回発行した。



【第35号：6/30発行】



【第36号：10/24発行】



【第37号：1/24発行】



【第38号：5/1発行】

認定第1号 令和4年度収支決算について

会則第11条第2項に基づき令和4年度収支決算について次のとおり認定に付する。

令和5年6月3日提出

一関地球温暖化対策地域協議会
会長 徳谷喜久子

令和4年度収支決算

収入の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	比較	説明
会費	121,500	115,000	△6,500	個人会員 (@500円×80名) 40,000
				企業・団体会員 (@5,000円×15) 75,000
補助金	851,000	851,000	0	一関市 851,000
雑収入	104	606	502	預金利子 6
				出席旅費返金 600
繰越金	296,396	296,396	0	前年度繰越金
合計	1,269,000	1,263,002	△5,998	

支出の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	比較	説明
謝金	70,000	41,000	△29,000	イラストデザイン謝礼 30,000
				小水力発電研究会キックオフゼミ講師謝礼 5,000
				出前講座 in むろね発表者謝礼 6,000
旅費	80,000	59,380	△20,620	気候セミナー講師旅費 25,620
				小水力発電研究会キックオフゼミ講師旅費 2,220
				役員等の会議等出席の費用弁償 31,540
事業費	1,029,000	421,901	△607,099	気候セミナー講師お土産代等 4,477
				市民フェスタ従事者昼食代 1,000
				広報 eco (第33号) 印刷費 396,000
				自然エネルギー等見学会講師お土産代 3,600
				レターパック代 2,590
				寄贈図書代 14,234
事務費	70,000	63,607	△6,393	郵送料 (切手・郵便料金) 60,757
				振込手数料 2,850
使用料	10,000	0	△10,000	
予備費	10,000	0	△10,000	
合計	1,269,000	585,888	△683,112	

収入済額 1,263,002円 - 支出済額 585,888円 = 677,114円

は翌年度に繰り越すものとする。

監査報告

令和4年度収支決算について、令和5年4月27日に監査を行った結果、正当かつ正確であることを認める。

令和5年6月3日

一関地球温暖化対策地域協議会

監事 藤江元

監事 薄井信次

議案第1号 令和5年度事業計画（案）

会則第11条第2項に基づき令和5年度事業計画を次のとおり定める。

令和5年6月3日提出

一関地球温暖化対策地域協議会
会長 徳谷喜久子

令和5年度事業計画（案）

年を新たにしても尚、ロシアとウクライナの戦争は収まる気配は見られません。IPCCの最新報告書でも、地球温暖化が進めば熱波や大雨、干ばつといった「極端現象」の頻度や強さが、世界各地で増すことになると指摘しています。大規模な自然災害だけではなく、気温上昇や干ばつによる食糧不足、水資源不足水産・農業生産の減少の他、生態系への影響、感染症の増加など、私たちの暮らしにも多大な影響が及ぼされることになります。当協議会も高齢化が進んでおりますが、後に続く人々のために、私たちができることはまだまだあります。手を携えて引き続き温暖化対策を進める一年としたいものです。

具体的な活動案

- 1 環境セミナー・講演会の開催
- 2 ”脱炭素社会・暮らし”を中心とした地球温暖化防止に関する出前講座
- 3 各イベント等における当協議会のPR・参加
- 4 広報ecoの発行
- 5 会員からの情報提供への対応
- 6 他団体との協働や支援
- 7 会報の発行（必要に応じて）
- 8 図書の寄贈

議案第2号 令和5年度収支予算（案）

会則第11条第2項に基づき令和5年度収支予算を次のとおり定める。

令和5年6月3日提出

一関地球温暖化対策地域協議会
会長 徳谷喜久子

令和5年度収支予算

収入の部

(単位:円)

項目	予算額	前年度予算額	比較	説明
会費	120,000	121,500	△1,500	個人会員(@500円×80名) 40,000 企業・団体会員(@5,000円×16) 80,000
補助金	851,000	851,000	0	市補助金
雑収入	886	104	782	預金利子等
繰越金	677,114	296,396	380,718	前年度繰越金
合計	1,649,000	1,269,000	380,000	

支出の部

(単位:円)

項目	予算額	前年度予算額	比較	説明
謝金	70,000	70,000	0	講師謝礼等
旅費	80,000	80,000	0	講師旅費 30,000 役員会議出席旅費 50,000
事業費	1,409,000	1,029,000	380,000	広報eco印刷費 840,000 各種事業に係る経費 549,000 寄贈図書 20,000
事務費	70,000	70,000	0	振込手数料 3,000 事業等案内郵送料 67,000
使用料	10,000	10,000	0	会場使用料等
予備費	10,000	10,000	0	
合計	1,649,000	1,269,000	380,000	

※項目間の流用は、役員会に一任する。

議案第3号 役員の選出について

会則第8条第1項に基づき次の役員の選出を求める。

令和5年6月3日提出

一関地球温暖化対策地域協議会
会長 徳谷喜久子

1 会長（1名）

2 監事（2名）

議案第4号 役員の承認について

会則第8条第2項に基づき次の役員の承認を求める。

令和5年6月3日提出

一関地球温暖化対策地域協議会
会長 徳谷喜久子

1 副会長（若干名）

2 事務局長（1名）

一関地球温暖化対策地域協議会会則

(名 称)

第1条 本会は一関地球温暖化対策地域協議会（略称 I E L）と称する。（以下「協議会」という。）

(目 的)

第2条 協議会は住民、事業者、行政が地域レベルで連携し協力しながら、健全で恵み豊かな地球環境の「保全と創造」を基本理念に具体的な地球温暖化防止活動について、各主体が適切な役割を担い、自主的かつ積極的に継続して環境対策に取り組むことを目的とする。

(活 動)

第3条 協議会は次に掲げる活動を行う。

- (1) 地球温暖化対策の学習・教育活動の推進
- (2) 岩手県地球温暖化対策推進計画の普及啓発活動
- (3) 会員相互の情報交換、発信
- (4) 地域で実践できる協働事業の計画・実施
- (5) その他協議会の目的達成のために有効な諸活動

(組 織)

第4条 協議会は第2条に定めた目的に賛同する個人、法人、団体等（以下「会員」という。）をもって構成する。

(入会)

第5条 協議会に入会しようとする者は、別に定める入会申込書を会長に提出する。

2 協議会は、前項の入会申し込みがあった場合には、正当な理由なくこれを拒んではならない。

(退会)

第6条 会員が次の各号の一に該当する場合には退会したものとする。

- (1) 会員から別に定める退会届が会長に提出されたとき。
- (2) 正当な理由なく第12条に規定する会費を1年以上納入しないとき。
- (3) 会員が死亡又は解散したとき。

(役 員)

第7条 協議会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 監事 2名
- (4) 運営委員
- (5) 事務局長 1名

2 協議会に顧問を置くことができる。顧問は会長の諮問に応え会議に出席し意見を述べることができる。

(役員を選出及び任期)

第8条 会長及び監事は、会員の互選により総会において選出する。

2 副会長及び事務局長は、会長の指名によって総会の承認を得て選出する。

- 3 運営委員は会長が指名する。
- 4 役員の任期は2年とする。但し、再任を妨げない。
- 5 補欠役員の任期は前任者の残任期間とする。

(役員の職務)

第9条 会長は協議会を代表し、会務を総括する。

- 2 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代行する。
- 3 監事は、会計の監査を行う。
- 4 役員は役員会議に出席し、第3条に定めた活動について協議する。
- 5 事務局長は協議会の日常業務を統括処理する。

(役員の報酬)

第10条 役員は無報酬とする。

(会 議)

第11条 会議は総会と役員会議とする。

- 2 総会は年1回及び必要に応じ、会長が召集し、会則の改廃及び役員の選任、事業報告及び収支決算報告の承認、事業計画及び収支予算の承認、活動計画等について決定する。
- 3 役員会議は必要に応じ随時開催し、第3条に定めた活動について協議する。
- 4 会議の議長は会長が務める。
- 5 必要に応じ、専門委員会を置くことができる

(経費)

第12条 協議会に必要な経費は、会費、負担金、支援金及びその他の収入をもってこれに充てる。ただし、会費にあつては次に掲げる額とする。

- (1) 個人会員 年会費 500円
- (2) 企業、団体（非営利団体と認められる団体を除く。）会員 年会費一口 5,000円

(会計年度)

第13条 協議会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(事務局)

第14条 協議会の事務を処理するため、事務局を置き、事務局長のほか職員を置くことができる。

- 2 事務局は当面一関市市民環境部生活環境課内に置く。

(委 任)

第15条 この会則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は別に定める。

附 則

この会則は平成19年3月22日から施行する

附 則（平成19年10月9日改正）

この会則は、平成19年10月9日から施行する

附 則（平成22年5月16日改正）

この会則は、平成22年5月16日から施行する

一関地球温暖化対策地域協議会 役員名簿

(令和5年4月1日現在)

	役員名	氏 名
1	会 長	徳 谷 喜久子
2	副 会 長	千 田 恭 平
3	副 会 長	菅 原 佐喜雄
4	副 会 長	佐 藤 敏 朗
5	事務局長	佐々木 勝 裕
6	監 事	藤 江 元
7	監 事	薄 井 信 次
8	運営委員	佐 藤 和 久
9	運営委員	菅 原 寿
10	運営委員	佐々木 幸
11	運営委員	鈴 木 嘉 子
12	運営委員	菊 地 清 志
13	運営委員	菅 原 雪 枝
14	運営委員	千 葉 理 恵